

2023年度 事業者向け 生活介護・児童発達支援 自己評価表(あかとんぼ稲毛)

評価期間：2023年8月～2024年1月

回収数/配布数：9/10

回収率：90%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	78%	22%		広いフロアの為、身体を緩めたり、休めるスペースと活動のスペースを配置しています。
	2 職員の配置数は適切であるか	67%		33%	重心という事もあり、看護師を1日2名以上配置している。食事やトイレ介助が必要な場面が多いため、配置基準より多めに配置しています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	89%		11%	館内段差等はなく、トイレについても手すりやベンチシートを設置しています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	56%		44%	本人や保護者のご希望に沿うことを基本としながら、支援における改善点等の意見を職場会議や夕礼にて挙げてもらい、それに対する具体的対応を話し合い、実践後点検するという形を取っています。
	5 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			開所し初めてのアンケートでしたので、ご意見を参考に運営しています。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	100%			ホームページ上に公表しており、年に1回更新しています。
	7 第三者による外部評価を行ない、評価結果を業務改善につなげているか	100%			外部評価は実施していませんが、法人内の同事業間で点検を実施し、指摘事項については改善しています。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	78%		22%	月1回の職場会議内において研修時間を設けています。法人としても年4回、ハラスメントや権利擁護等の研修を重点項目として位置づけ行なっています。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	45%		55%	面談や送迎時の会話、1年に1回記載していただくアセスメントシートからニーズや課題を把握しています。家庭と同じ方向性でアプローチし成長につなげていけるようサービス計画を作成しています。
	10 こどもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	40%	60%		アセスメントシートに日常生活動作の自立度等を確認する項目はありますが、適応行動の状況をはかる内容にはなっていないため、法人内の同事業所間で改善に努めます。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	73%	27%		毎月の職場会議において、利用者の成長や楽しみにつながることを意識しながら活動内容を話し合っています。

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	55%	45%	活動がマンネリ化しないようイベントを企画したり、おもちゃの入れ替えを行う等しています。また活動の幅を広げていけるよう、職場会議や朝礼で意見を出し合っ、これまで行なっていなかった遊びを試してみる等しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	36%	64%	朝礼にて利用者毎の支援上の留意点や課題を共有し支援を行なっていますが、平日・休日・長期休暇に応じて課題を設定しているとまでは言い切れない現状です。休日や長期休暇については活動時間が長いので、平日時間が短くあまり屋外での活動ができない分、積極的に屋外で活動することを心がけています。
	14	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ生活介護・児童発達支援計画を作成しているか	82%	18%	個々の利用者の状況や保護者の要望等から、利用者毎に計画を作成しています。結果として、集団活動に焦点を当てる方もいれば、個別活動に焦点を当てる方もいます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%		朝礼を実施し、その日の活動内容、個々の利用者に対する支援上の留意点や安全上の留意点等を共有しています。
	16	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	100%		夕礼を実施し、一人ひとりがその日の活動について感じたことや気づいた点を述べてもらう時間を設けています。それを受けて、翌日以降の支援において利用者に対し新しいアプローチをしたり、ひやりはっと等を共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%		記録については、個人的な感想や見解を書かないことを徹底しています。必要に応じ、利用者の気になる行動がいつから見られるか等の振り返りに活用しています。
	18	定期的にモニタリングを行い、生活介護・児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	73%	27%	開所して6ヶ月が経った為、モニタリングを行ない、必要に応じ計画を見直しています。日々の朝礼・夕礼や月1回の職場会議等で、利用者の状態に変化があれば共有し、期中であっても見直しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	36%	64%	複数の基本活動を組み合わせていますが、職員間でガイドラインに対する理解に差が見受けられるため、意識に留めていくためにも研修にて定期的に取り扱っていきます。
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にそのこどもの状況に精通したもつともふさわしい者が参画しているか	100%		担当者会議には管理責任者が参加することとしています。	

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	91%	9%		生活介護利用の際に実習受け入れを行う際に情報共有を行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、こどもの主治医等と連絡体制を整えているか	36%	64%		ご家族を通じ、主治医に意見書を記載していただき適切なケアを行っています。
	23	保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%			保護者からの情報のみではなく、必要に応じ児童発達支援事業所の支援計画等を支援の手掛かりとすることがあります。
	24	小学校や特別支援学校(小学部)との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を計っているか		100%		問い合わせがあれば、情報提供します。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		100%		開設して間もない為、児童発達支援センターと発達障害者支援センターの連携は、担当利用者の情報共有のみとなっている。研修等は、今後機会があれば積極的に参加していきます。
	26	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	18%	36%	46%	外部団体との交流はほとんどないため、公園に出掛けた際の地域の人のふれあい等を大切にしています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			100%	参加できていない為、今後は積極的に参加していきたい。
	28	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	91%	9%		連絡ノートや送迎時・保護者面談等でのコミュニケーションを通じて、利用者の状況や課題について共有を図りながら、時には学校とも連携して支援を行なっています。
保護者への説明責任	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	18%	55%	27%	ペアレント・トレーニングの機会は持っていません。保護者からのご相談に可能な限り応えられるようスタッフの資質向上に努めています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			契約時に重要事項説明書等を用いながら説明を行なっています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	64%	27%	9%	保護者からのご相談は、基本的には児童発達支援管理責任者が対応しています。必要に応じて学校や相談支援事業所とも連携して少しでも保護者の負担が軽減されるよう努めています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	10%	45%	45%	年に1回保護者会の実施を考えていますが、開所して半年の為、年度末か1年後に企画していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	73%	27%		苦情受付に関し、契約時に事業所・法人・外部機関各窓口の案内を行なっています。苦情を受け付けた際には、法人で定められた規程に則って対応しています。

任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			半年に1回で会報を発行し活動内容を紹介しています。イベントの予定や緊急時の連絡体制等の案内については、会報とは別に適宜書面にて行なっています。
	35	個人情報に十分に注意しているか	91%	9%		個人情報に記載されているものについては、施錠可能な場所に保管しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	91%	9%		文字盤やジェスチャー、メール等を用いてコミュニケーションを行なっています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	18%	55%	27%	事業所としては行なっていませんが、複合施設としては、サロンや地域食堂等の活動を行なっています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	91%	9%		状況毎の対応方法について、年度始めや流行時期にお手紙を配布しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	91%	9%		年に2回法令で義務付けられた通報・消火・避難訓練を行なっています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			法人として年に1回「権利擁護・虐待防止」をテーマとした研修を行なっています。事業所としても今年度「不適切ケア」を扱った研修を行いました。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			法人として方針を定めており、やむを得ず身体拘束を行う際には、保護者に了解を得た上でサービス計画に記載しています。
	42	発作・アレルギーのある子どもを受け入れる場合は、医師の指示等に基づく対応がなされているか	82%	18%		指示書及び、保護者からの情報に基づいて対応しています。
43	ヒヤリハットを事業所内で共有しているか	91%	9%		朝礼及び夕礼にて共有しています。当日出勤のないスタッフに対しては業務日誌にて周知しています。また、法人内で生じた事故について、自事業所の活動に教訓として生かせるものについては職場会議にて共有しています。	

2023年度 事業者向け 放課後等デイサービス 自己評価表(あかとんぼ稲毛)

評価期間: 2023年10月～2024年3月

回収数/配布数: 8/10

回収率: 80%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	63%	25%	12%	食事以外は、テーブルを端に寄せることによりスペースを広く使うようにしています。
	2 職員の配置数は適切であるか		100%		食事やトイレ介助が必要な場面が多いため、配置基準より多めに配置していますが、今年度はスタッフの退職により昨年度より少ない配置で支援を行う場面が多くありました。そのような状況の中でも“安全に楽しく”を合言葉に職員間でリスクを共有しながら活動を行いました。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	63%	37%		館内段差等はなく、トイレについても手すりやベンチシートを設置しています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	50%	50%		本人や保護者のご希望に沿うことを基本としながら、支援における改善点等の意見を職場会議や夕礼にて挙げてもらい、それに対する具体的対応を話し合い、実践後点検するという形を取っています。
	5 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			年に1回利用者アンケートを実施し、ご意見を参考に運営しています。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	100%			ホームページ上に公表しており、年に1回更新しています。
	7 第三者による外部評価を行ない、評価結果を業務改善につなげているか		100%		外部評価は実施していませんが、法人内の同事業間で点検を実施し、指摘事項については改善しています。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	75%	25%		月1回の職場会議内において研修時間を設けています。法人としても年4回、ハラスメントや権利擁護等の研修を重点項目として位置づけ行なっています。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	63%	37%		面談や送迎時の会話、1年に1回記載していただくアセスメントシートからニーズや課題を把握しています。家庭と同じ方向性でアプローチし成長につなげていけるようサービス計画を作成しています。
	10 こどもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	25%	75%		アセスメントシートに日常生活動作の自立度等を確認する項目はありますが、適応行動の状況をはかる内容にはなっていないため、法人内の同事業所間で改善に努めます。

適切な支援の提供

11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	50%	25%	25%	毎月の職場会議や土曜イベント会議において、利用者の成長や楽しみにつながることを意識しながら活動内容を話し合っています。私事都合により会議への参加が難しいスタッフの意見をいかに反映させるかが課題です。
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	37%	63%		活動がマンネリ化しないようイベントを企画したり、おもちゃの入れ替えを行う等しています。また活動の幅を広げていけるよう、職場会議や朝礼で意見を出し合っており、これまで行なっていなかった遊びを試してみる等しています。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	13%	75%	12%	朝礼にて利用者毎の支援上の留意点や課題を共有し支援を行っていますが、平日・休日・長期休暇に応じて課題を設定しているとまでは言い切れない現状です。休日や長期休暇については活動時間が長いので、平日時間が短くあまり屋外での活動ができない分、積極的に屋外で活動することを心がけています。
14	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	37%	63%		個々の利用者の状況や保護者の要望等から、利用者毎に計画を作成しています。結果として、集団活動に焦点を当てる方もいれば、個別活動に焦点を当てる方もいます。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	75%	13%	12%	朝礼を実施し、その日の活動内容、個々の利用者に対する支援上の留意点や安全上の留意点等を共有しています。
16	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	75%	25%		夕礼を実施し、一人ひとりがその日の活動について感じたことや気付いた点を述べてもらう時間を設けています。それを受けて、翌日以降の支援において利用者に対し新しいアプローチをしたり、ひやりはつと等を共有しています。参加できないスタッフに対しては、主に業務日誌にて共有を図っています。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			記録については、個人的な感想や見解を書かないことを徹底しています。必要に応じ、利用者の気になる行動がいつから見られるか等の振り返りに活用しています。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	50%	50%		原則6ヶ月に1回モニタリングを行ない、必要に応じ計画を見直しています。日々の朝礼・夕礼や月1回の職場会議等で、利用者の状態に変化があれば共有し、期中であっても見直しています。

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ て支援を行っているか	50%	38%	12%	複数の基本活動を組み合わせていますが、職員間でガイドラインに対する理解に差が見受けられるため、意識に留めていくためにも研修にて定期的に取り扱っていきます。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にそのこどもの状況に精通したもっともふさわしい者が参画しているか	100%			担当者会議には児童発達支援管理責任者が参加することとしています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%			主に送迎時に情報共有を行なっています。感染症の発生や荒天による休校等についての情報は、学校配信の専用のメールにて得ています。
	22	医療的ケアが必要なこどもを受け入れる場合は、こどもの主治医等と連絡体制を整えているか	50%	50%		医療的ケアが必要な利用者の受入れは行なっていません。今年度、訪問看護事業所と連携を取ることで受け入れを模索しましたが、安定的な訪問が担保できないと判断したため実現しませんでした。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%			保護者からの情報のみではなく、必要に応じ児童発達支援事業所の支援計画等を支援の手掛かりとすることがあります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		100%		問い合わせがあれば、情報提供します。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%			児童発達支援センターとの連携はこれまで行なっていません。発達障害者支援センター等との連携について、千葉市発達障害者支援センター主催の発達障害講座を受講しました。利用者の日ごとの行動についての考察や接し方を考える上でとても有益でした。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのないこどもと活動する機会があるか		25%	75%	外部団体との交流はほとんどないため、公園に出掛けた際の地域の人のふれあい等を大切にしています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100%			昨年度に続き障害者基幹相談支援センター主催の地区内児童系事業所の意見交換会に参加しました。活動内容、保護者との連絡ツール、経営等について貴重な情報を得ることができました。
	28	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	63%	37%		連絡ノートや送迎時・保護者面談等でのコミュニケーションを通じて、利用者の状況や課題について共有を図りながら、時には学校とも連携して支援を行なっています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	13%	50%	37%	ペアレント・トレーニングの機会は持っていません。保護者からのご相談に可能な限り応えられるようスタッフの資質向上に努めています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			契約時に重要事項説明書等を用いながら説明を行なっています。

保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	50%	50%		保護者からのご相談は、基本的には児童発達支援管理責任者が対応しています。必要に応じて学校や相談支援事業所とも連携して少しでも保護者の負担が軽減されるよう努めています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	13%	50%	37%	年に1回保護者会の実施を考えていますが、実施に至りませんでした。次年度は実施できるよう努めます。
	33	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	88%	12%		苦情受付に関し、契約時に事業所・法人・外部機関各窓口の案内を行なっています。苦情を受け付けた際には、法人で定められた規程に則って対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか	50%	38%	12%	昨年度まで隔月で会報を発行し活動内容を紹介していましたが、今年度は人員が十分に整わず発行できませんでした。次年度は発行を再開していきます。イベントの予定や緊急時の連絡体制等の案内については、適宜書面にて行なっています。
	35	個人情報に十分に注意しているか	88%	12%		個人情報が記載されているものについては、施錠可能な場所に保管しています。
	36	障がいのあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	63%	37%		文字盤やジェスチャー、メール等を用いてコミュニケーションを行なっています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	25%	38%	37%	事業所としては行なっていませんが、複合施設としては、サロンや地域食堂等の活動を行なっています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	75%	25%		状況毎の対応方法について、年度始めや流行時期にお手紙を配布しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	75%	25%		年に2回法令で義務付けられた通報・消火・避難訓練を行なっています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			法人として年に1回「権利擁護・虐待防止」をテーマとした研修を行なっています。事業所としても異分野ですが視野を広める目的で、精神医療分野で行われた虐待について研修で取扱いました。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			法人として方針を定めており、やむを得ず身体拘束を行う際には、保護者に了解を得た上でサービス計画に記載しています。
	42	発作・アレルギーのあるこどもを受け入れる場合は、医師の指示等に基づく対応がなされているか	75%	25%		指示書はいただいませんが、保護者からの情報に基づいて対応しています。
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有しているか	88%	12%		朝礼及び夕礼にて共有しています。当日出勤のないスタッフに対しては業務日誌にて周知しています。また、法人内で生じた事故について、自事業所の活動に教訓として生かせるものについては職場会議にて共有しています。

2023年度 事業者向け 放課後等デイサービス 自己評価表(あかとんぼさくら)

回収数/配布数: 7枚/13

回収率: 53%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	28%	58%	14%	思い切り身体を動かすことができるスペースがあるとよいと思います。
	2	職員の配置数は適切であるか	14%	58%	28%	各部屋に一人づつ配置できると安心して活動できています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	28%	58%	14%	立ち入り禁止の部分もあるが、誰がどこにいて危険のないように工夫はしています。気が付いたときにはすぐに改善をしています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	42%	44%	14%	前回からの振り返りを、ケアが始まる前に屋礼の場で共有しています。また、担当を決め個別計画のモニタリングを行いました。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		100%		アンケート回収後、働きづらさや一人で思い悩んでいる利用者との不定期であるが話す時間を持っています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか		100%		毎月通信を発行しています。
	7	第三者による外部評価を行ない、評価結果を業務改善につなげているか		100%		第三者によるは行っていませんが、利用者、職員からの声で業務改善に繋がりました。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	86%	14%		児発管研修2名 強行研修2名が研修修了しました。希望のある職員に声をかけ、外部研修に参加する職員を増やし、自分達のケアにどのように活かせるか学ぶ機会を持ちました。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	86%	14%		初回前にアセスメント面談をし、計画書を作成しました。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	43%	43%	14%	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	29%	71%		自由活動は子供たちの声を聞き活動に活かしています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	43%	57%		リクエストに応じマンネリ化しない為に、活動やおやつにもメンバーを再募集し内容を工夫しました。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	57%	29%	14%	職員の疲れ度も勘案し、午前午後は職員が交代するように配置をしました。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	86%	14%		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			屋礼で確認しています。
	16	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	29%	71%		業務日誌やチャットワークスで共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	86%	14%		17:30-18の送迎しない職員で当日の記録をし、次の日の業務に活用しています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	71%	29%		追加したほうがよいと思われる場合は、追記することも含め話し合っています。

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ て支援を行っているか	29%	71%		
関係機 関や保 護者との連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に そのこどもの状況に精通したもつともふさわしい者が 参画しているか		100%		サービス担当者会議のお知らせはなく、参 加はする機会が無く参加はできていませ ん。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交 換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎 時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っ ているか	86%	14%		学校からの迎え時間について、学校に相談 しFAXで出してくださり改善に繋がりました。
	22	医療的ケアが必要なこどもを受け入れる場合は、こ どもの主治医等と連絡体制を整えているか	43%	43%	14%	内出血や目の動き等、普段と違う様子が あった場合は受診を勧め、家族を通して返 事が来ています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども 園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相 互理解に努めているか		100%		就学前に利用していた併用事業所との情報 共有は行えていません。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障 害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それま での支援内容等の情報を提供する等しているか		100%		卒業後は行えていません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター 等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	43%	43%	14%	佐倉市放課後デイ連絡会の研修に6名参 加できました。 医療的ケアが必要な方には家族から具体 的な内容について助言を貰いました。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいの ないこどもと活動する機会があるか	14%	14%	72%	交流や活動する機会は持てませんでした。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している か		100%		所長が参加しました。
	28	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こども の発達の状況や課題について共通理解を持っている か	71%	29%		支援実施記録や送迎時口頭で、LINE等で 情報共有しています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に 対してペアレント・トレーニング等の支援を行ってい るか	14%	43%	43%	
保護者へ の説明責 任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧 な説明を行っているか		100%		契約時にお伝えしています。又、理解不足 にならないよう状況をみながら説明をし ました。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切 に応じ、必要な助言と支援を行っているか	43%	57%		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催 する等により、保護者同士の連携を支援しているか		29%	71%	保護者会、報告会と2回開催しました。 参加できない場合は随時行いました。
	33	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を 整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情が あった場合に迅速かつ適切に対応しているか	50%	50%		利用者保護者に聞き取りと相談する場を不 定期ですが持っています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、 連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信し ているか	58%	28%	14%	通信、イベント表、おやつ予定の配布をし ています。
	35	個人情報に十分に注意しているか	71%	29%		具体的に扱う時の状況をお知らせをしてい ます。
	36	障がいのあるこどもや保護者との意思の疎通や情報 伝達のための配慮をしているか	71%	29%		絵カードや環境を作り、大人も子どもも見え やすく何がしたいかわかるように工夫をし ました。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開か れた事業運営を図っているか		71%	29%	安心システムがあるが、事業所からは特段 お知らせはしていません。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	44%	28%	28%	自分たち動画を見ながら実地訓練を行いました。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	58%	28%	14%	年2回 火災 地震想定で避難訓練をしました。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	29%	42%	29%	権利擁護の研修や接遇マナーチェックシートを使用し自己確認も行いました。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		100%		個別に書いてありますが、具体的に書けるようにしていきます。
	42	発作・アレルギーのある子どもを受け入れる場合は、医師の指示等に基づく対応がなされているか	29%	71%		医療的配慮が必要な方には、服薬書や意思から言われたことをアセスメントに追加しています。
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有しているか	44%	28%	28%	昼礼や定例会だけではなく、チャットワークスで情報共有しています。

2023年度 事業者向け 放課後等デイサービス 自己評価表(あかとんぼ飯野)

回収数/配布数: 10/13

回収率: 76,9%

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	60%	40%		活動内容により時間をずらす等の工夫をしています。
	2	職員の配置数は適切であるか	20%	60%	20%	適切な人員配置を行なっています。活動内容等の状況により、多く配置を行なう場合もあります。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		40%	60%	民家を借りて運営しているため、バリアフリーになっていないことやトイレが一カ所しかなく、時間をずらして対応しています。その他、状況に応じて改善を行なっています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	20%	80%		目標設定を行ない計画を遂行しておりません。振り返りも適宜おこなって参ります。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	70%	30%		満足度は高いご回答をいただいております。利用者の皆様のご意見は、一つずつ継続して取り組めることかも含め検討・実施していきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	100%			毎年公表しています。
	7	第三者による外部評価を行ない、評価結果を業務改善につなげているか	100%			監査実地指導で指摘を受けたことなどを改善しています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	70%	30%		研修の機会を確保・実施していますが、参加できない場合もあり、後日共有しています。
適切な	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	80%	20%		ご本人のニーズ等の聞き取りが難しい場合もあるため保護者に伺いながら作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	40%	60%		長年使用している現在の書式の見直しも必要だと考えています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	60%	40%		会議等を通して意見を募りチームとして行なっていますが、タイムリーに情報共有ができるよう検討していきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	70%	30%		固定化しないよう意見を出し合い工夫をしています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	60%	40%		課題を把握し配慮を行なっています。利用者様の状況や環境により変化もありますが、皆で工夫して支援をしています。

は 支 援 の 提 供	14	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	60%	40%		ご利用者の状況に合わせて活動ができるよう作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	80%	20%		基本行なっていますが、その場で出来ない場合もあるため、後から共有ツールを使用して行なっています。
	16	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	40%	50%	10%	業務日誌や情報共有ツールを使用して共有をしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	70%	30%		共有事項は検証につながるよう記録しております。今後もより良い内容を考え改善していきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	70%	30%		定期的なモニタリングを実施しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	60%	40%		ガイドライン・その他の資料・研修を参考に、よりよい支援や個々の成長に繋がるよう支援を行なっています。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にそのこどもの状況に精通したもつともふさわしい者が参画しているか	100%			日頃から関係性ができている職員やその他の職員など、多面的に捉えられるよう複数名で参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	70%	30%		出来る限り共有させて頂いております。
	22	医療的ケアが必要なこどもを受け入れる場合は、こどもの主治医等と連絡体制を整えているか	10%	60%	10%	現在は該当するご利用者がおりません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%			必要な連携を行なって情報共有に努めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100%			関係機関と連携を会議等で行なう場合に共有させていただきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%			適宜、専門機関と連携し、ご助言をいただいております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのないこどもと活動する機会があるか		30%	70%	保護者の皆様がどのように求めているかを調査していないため、現在は実施していませんが、大学生も勤務しているため、学祭に行き交流しています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100%			積極的に参加しています。
	28	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	80%	20%		その日のご様子を共有させていただいております。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	20%	70%	10%	ペアレント・トレーニングは行なっておりませんが、関係機関と連携しながら保護者のサポートを行なっています。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			契約時にご説明を行なっています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	60%	40%		ご相談があれば適宜お話を伺い、事業所までのご様子を共有させていただくなど、お話をさせていただいております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	10%	50%	40%	定期的な開催はできておりません。昨年度は保護者説明会を行ない、ご質問等も含め、ご参加いただけなかった利用者の皆さまとも共有させていただきました。
	33	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	80%	20%		苦情についての説明を契約時に行っています。苦情があった場合にはできる限り早めに対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか	70%	30%		広報誌を定期的に発行しておりますが、発信が遅れてしまう場合もあります。
	35	個人情報に十分に注意しているか	100%			伏字を使用するなど注意をしています。
	36	障がいのあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			ご利用者様やご家族様にも相談させていただきながらスムーズに伝達できるよう配慮を行なっています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	20%	40%	40%	現在、地域住民の方を事業所に招待する等の交流の場を持っておりません。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	60%	40%		マニュアルは策定しています。その全てを保護者の皆様に周知できていません。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			毎年定期的に行なっています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	90%	10%		多くの職員が研修に参加又は内容の共有を行なっています。都合がつかない場合には後日共有を行ないます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			身体拘束を行わなければならない利用者様のご利用が現在はありません。ご利用される場合は説明や承諾を得た上で計画に記載を行ないます。
	42	発作・アレルギーのあるこどもを受け入れる場合は、医師の指示等に基づく対応がなされているか	90%	10%		主治医の指示等に基づき保護者にお伺いした内容で対応させていただいております。
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有しているか	100%			業務日誌や事業所会議等で共有しています。

2023年度 事業者向け 放課後等デイサービス 自己評価表(あかとんぼ作草部)

回収数/配布 10/15

回収率: 67%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	90%	10%		車椅子でスペースを取られることが多いため、通路や活動スペースの確保に留意しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	40%	40%	20%	ケア量が多い方が多い日と少ない日のバランスがうまく取れていない日があります。ご利用者に安全に過ごしていただけるよう配置を工夫します。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	80%	20%		どなたでも利用しやすい環境が整っています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	80%	20%		SNSをうまく活用し、勤務頻度が少ない方でも職場運営に参加いただけるよう工夫しています。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			実施しています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	100%			ホームページ上に公表しています。
	7	第三者による外部評価を行ない、評価結果を業務改善につなげているか			100%	外部評価は行なっていませんが、法人内部の自主監査を受け、必要に応じて業務改善につなげています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	90%	10%		ZOOMやSNS活用や研修の映像を残すことで勤務頻度の低い方でも昨年度以上に参加の機会を増やすことができました。次年度も継続します。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	70%	30%		面談・アセスメント後に作成された計画に対し、全職員がモニタリングに関わることで、共通認識の持てる計画を作成(更新)できています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	60%	40%		既にアセスメント表はありますが、個別活動・支援を充実するため、誰でも一目でわかるアセスメント表(簡易版)を作成します。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	90%	10%		活動会議を中心として活動プログラムを作成しています。次年度は、各プログラムにどのように個々のご利用者に関わっていただくかに重心を置いて立案します。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	90%	10%		プログラムが偏らないよう活動会議の中で調整していますが、今年度は制作活動が多く、レクリエーションが少なめだったため、次年度は「楽しむ」ことに重きを置いて活動を計画します。

適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	70%	30%	終日利用時には個々のご利用者の状態に応じてカラダの時間を設けたり個別活動に力を入れる等の工夫をしました。ただし、時間に追われることが多く、職員配置も含めてより活動を充実できるような工夫が必要です。
	14	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	90%	10%	すべてを放課後等デイサービス計画に盛り込むことはできませんが、計画内容を意識しながら個別活動や集団活動に取り組んでいます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	70%	30%	放課後利用時は必ず朝礼を行なっています。終日利用時は職員が揃った時点でその日のことについて軽く打合せを行なっていますが、毎回できているわけではないため、確実に全員が当日のことをわかる状態となるよう、更に改善します。
	16	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	40%	60%	夕礼に出られない職員が増えています。日々の支援での振り返りや気づきを共有することが難しくなっているため、次年度はこの点について改善策を検討します。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	90%	10%	正しい記録は徹底していますので、今後も継続します。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	80%	20%	全職員が参加してモニタリングを行い、必要に応じて計画を見直しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	60%	40%	意識的に多様な活動を取り組めるよう、活動の柱を常に意識しながら活動会議で活動内容を定めます。
関係機関や保護者	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にそのこどもの状況に精通したもつともふさわしい者が参画しているか	100%		基本的には児童発達支援管理責任者が参加し、必要に応じて専門職も同席しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	70%	30%	大きなトラブル等はなく、引継ぎ時に情報を共有することができています。
	22	医療的ケアが必要なこどもを受け入れる場合は、こどもの主治医等と連絡体制を整えているか	80%	20%	主治医と直接連絡を取ることは稀ではありますが、有事には連携できるようご家族を通して連絡体制は整えています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%		会議体ではありませんが、情報をいただき、スムーズに支援できるよう努めました。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100%		情報の提供、職員の派遣等を含めて情報とケアを共有できるよう努めました。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		100%	必要に応じて専門機関と連携しています。また、新たに医療的ケア児に特化した機関が誕生したため、更に連携を深めます。

との連携	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	50%	30%	20%	数回のみですが、事業所が所属する「風の村作草部」が取り組んだ地域活動と一緒に参加する等して障がいのない子どもと交流することができました。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100%			自立支援協議会の医療的ケア部会に参加し、他事業所や他機関との連携に努めています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	90%	10%		当日の様子を共有する他、事業所会議で出た疑問点等は送迎の時間を使って情報をいただいています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	10%	70%	20%	職員が直接何かをすることはありませんが、ご家族にとって必要な研修の情報を「あかさくだより」等を通してご案内しています。次年度は事業所主催研修を開催し、「ともに学ぶ」機会の提供を考えています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			契約時に時間を掛けてご説明しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	70%	30%		ご相談いただいた場合には専門職として答えられる範囲で助言し、個別対応が困難な場合には、事業所に持ち帰って相談の上回答しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	50%	40%		久しぶりに年度初めに開催することができました。ただし、開催日程が二転三転したことで参加者が限られてしまったため、次年度は早めに日程を案内します。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			契約時に重要事項説明書に基づいてご案内しています。また、苦情(ご意見)があった場合には、適時適切に対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			広報紙は毎月発行しています。また、Instagramを開設し、月に1~2回の頻度で情報発信しています。
	35	個人情報に十分に注意しているか	90%	10%		法人内の個人情報漏洩事故等の事例を共有するなど、危機意識を持って業務に従事しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			今年度はコミュニケーション方法の改善をテーマとして取り組み、絵や○×カードの活用、選択肢の提示等に取り組みました。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	70%	20%		事業所のイベントではありませんが、事業所が所属する「風の村作草部」として主催するイベントを地域の方にもご案内しています。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	60%	40%		職員には完全版を、ご家族には簡易版を共有しています。ただし、緊急時対応マニュアルは情報を補完する必要がありますので、次年度の課題として持ち越します。

非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	80%	20%		避難訓練は年に2回、防犯訓練は年1回実施しています。緊急時対応についての研修(訓練)実施が次年度の課題です。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			毎年必ず虐待防止の研修を実施するとともに、虐待防止委員会での検討内容や資料を共有し、啓発に努めています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			職場会議においても適時検討すると共に、虐待防止委員会においても報告・検討して対応しています。
	42	発作・アレルギーのある子どもを受け入れる場合は、医師の指示等に基づく対応がなされているか	80%	20%		医師の指示に基づくご家族の指示をいただいています。
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有しているか	90%	10%		ひやりはつと報告書または業務日誌にて検討・共有するとともに、職場会議内でも再共有しています。